

【NEWS RELEASE】

報道関係各位

2015年8月21日

株式会社 KADOKAWA

京都のコンテンツ創造・深化・魅力発信、文化・観光・地域振興を目指すため

KADOKAWA が京都市と「連携と協力に関する協定」を締結！

株式会社 KADOKAWA（東京都千代田区、代表取締役社長：松原真樹 以下 KADOKAWA）は、出版・映像・デジタルを軸としたコンテンツ、インフラ及びグローバルチャンネルを地域に提供し、地域振興に貢献し、相互発展に資する事業を行っております。

この度、京都市との間で「連携と協力に関する協定」を締結いたしました。 昨今、地域を舞台としたアニメーションや映画、出版物などコンテンツ制作のニーズの高まり、また“クール ジャパン”への関心の広がりの中、地域がブランドや地域産品を全国へ、さらに世界に向けて発信する取り組みが増えております。 国内市場が縮小傾向にあるなか、KADOKAWAは中長期的に成長が見込める分野でコンテンツを展開することを目指しており、地域の活性化に向けた取り組みと連携することで、コンテンツのマルチ展開を加速し、さらには地域全体をグローバル市場へ発信し、新たな事業にすることを目標とする「クール・リージョン（地域）」戦略を推進してまいります。

京都市とはこれまで「関西ウォーカー」および「京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）」を通じて既に協力関係があることから、コンテンツ関連だけでなく一歩踏み込んだ包括的な連携を今後も含めて図っていきたいと考えており連携協定を結ぶこととなりました。

京都という歴史・伝統と現代的感覚の優れた文化都市とコンテンツ企業であり、メディア企業である当社で協力関係を築くことに以下の意義があると考えております。

- 新たな娯楽や文化の創造・発信を目指す。
 - 京都が様々な分野で培ってきた蓄積を学び、新たな価値創造を目指す
 - 近畿圏でのビジネスの地盤を強化する。
 - 市という多くの視点を持つ組織と協議することでエンタテインメントを行う視点を拡大できる。
- 特に京都は文化を重んじている自治体ということもありますので、様々な議論していきたい。

当社は今後、京都市の産官学関係者とも連携を強化し、

- (1) 京都コンテンツの創造，深化，魅力発信に関すること
- (2) 文化振興に関すること
- (3) 観光振興に関すること
- (4) その他，地域活性化に関すること

について多面的に企画・実施し、市内外、海外も含め、京都ブランドが持続的に広く発信される仕組みを構築します。KADOKAWAは京都市での取り組みを進めるとともに、その成果を踏まえ、今後も他地域とのネットワーク化を促進し、地域コンテンツ事業を強化してまいります。

〈現時点で実施予定の“京都市+KADOKAWA”コンテンツプロジェクト〉

1. 「RIMP-A NIMATION 琳派400周年×『NEWTYPE』30周年記念琳派オマージュ展」
2. 京都国際マンガミュージアムでの定期的な企画展の実施（第1弾は2016年3月～予定）
3. 京都近在者に向けた生活・観光情報の発信強化
4. KADOKAWA Contents Academy と連携した京まふ漫画賞の海外展開を推進

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社KADOKAWA 広報課 pr-dept@kadokawa.jp
オフィシャルサイト <http://www.kadokawa.co.jp/>